

N. I. （社会システム学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は高校生の頃から、英語を第二言語として話せるようになりたいという思いがありました。しかし、英語に対する苦手意識が強くあり、授業では間違っただけを話しているのではという恐怖心から積極的に発言することができませんでした。そのような苦手意識を克服し、英語を話せるようになるため、留学することを決めました。

② 留学決定から出発までの期間

寮は 2 人部屋を選んだため、ルームメイトとコミュニケーションをとるために、YouTube や SNS を利用し、事前に日常的な英会話を学びました。またビザは現地取得のため、滞在期間を考慮して取得する必要のあるビザの名前や金額などを事前に調べました。

③ 現地到着後

到着後すぐに SIM カードを買い、換金をしました。そして、空港内にあるタクシーカウンターに行き、寮までタクシーで向かいました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

大学のキャンパスはとても広いですが、語学学校は小教室が 5 つとこじんまりした感じでした。スタッフは優しい方が多く、困ったことを相談するとすぐに対応してくれました。

◆ 授業内容、課題、試験。

授業は基本的に金曜以外の週 4 日で朝は Reading and Writing、午後は Listening and Speaking のクラスでした。グループワークが多いため、他のクラスメイトとすぐに打ち解けることができました。また約 1 ヶ月単位でテストを受けてクラスが変わるため、自分の実力に合うクラスの授業を受けることができました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

参加していませんでした。

⑥ 現地での住まいについて

寮はキャンパスの中にあるため、教室まではとても近かったです。そして、キャンパス内にはいくつかのカフェテリアがあり、様々な種類のご飯を気軽に楽しむことができました。部屋にはクーラーが完備されていた他、週に 1 回清掃が入り、ベットシートやバスタオルを変えてくれました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

休暇が 1 ヶ月あり、語学学校の友達とバギオという地区に旅行をした後、日本に一時帰国しました。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

授業でクラスメイトとお互いの国の文化紹介をすることも楽しかったですが、休日に一緒に観光に出掛けたことがとても良い思い出です。特にイントラムロスに行った時は、朝早くから集合し、たくさんの美しい建物や有名な博物館に行くことができて、とても楽しかったことを覚えています。また、大学の近くにはカフェがたくさんあったので、休日に1人でカフェ巡りをするのも楽しみの一つでした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

留学中には台風や火山の噴火といった自然災害や、キャンパスの爆破予告といったトラブルにも直面しました。放送も聞き取りにくかったこともあり、もし避難アナウンスが流れても気づけないのでは、と不安になりました。そして、帰国予定の約2ヶ月前からコロナが流行し、大統領による入国制限の対象国が更新されていたため、フライトがキャンセルされて帰れなくなったらどうしようと心配していました。また、時々部屋にゴキブリが出ることも辛かったです。

③ 文化・習慣の違いで驚いたこと

スーパーの買い物袋が紙袋だったことや、レストランはサービス料がお会計に含まれていることが多かったことに驚きました。また、フードデリバリーが発達しており、人気チェーン店のうどんのデリバリーもあり、とても便利でした。

Ⅲ. 留学志願者へアドバイス

① 日本から持って行って、役に立ったもの

ノートパソコン、虫除けスプレー、ムヒ、生理用品、USB、ショルダーバック、エコバック、マスク、ウェットティッシュ、折り畳み傘、帽子、常備薬、化粧水。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前とあとで変わったこと

語学力はとても向上しました。パラグラフの書き方はもちろん、英語を話す能力は留学前に会った人が驚くぐらい向上し、英語を話すことに対する自信が持てました。私はこの留学を通して英語に対する苦手意識がなくなり、英語で様々な国籍の人たちと会話する楽しさを覚えました。また、様々な国や年齢層のクラスメイトと議論やグループワークをしたことで、偏見を持つことが少なくなり、いろいろな考えを受け入れられるようになりました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は単に海外で勉強するだけではなく、その国の社会経済や食べ物、習慣、考え方など様々なことを学ぶことができます。日本の友達と楽しく過ごす時間など失うものもありますが、語学力やその国で出会った友達、日本にはないシステムや常識、様々な考え方など得るものがたくさんあります。私は留学中何度も辛いと感じましたが、留学したことに全く後悔はしていません。ただ、留学前半からもっと積極的に行動するべきだったと反省しています。このように思うことがないよう、皆さんは留学前から計画を立てて、留学中は

自分に甘えず挑戦し続けてください。

IV. 将来の目標

卒業までに第二言語として英語を話せるようになり、TOEIC で 850 点、TOEFL-iBT で 85 点をとることが目標です。

V. 写真



これは Halo-Halo という名前の食べ物で、練乳のかかった氷と上乘っているフルーツとアイスを混ぜて食べます。紫色のアイスクリームはウベと呼ばれるフィリピンで有名な紫芋からできています。



この写真は B G C という地区の Venice Grand Canal Mall に行った時の写真です。ヨーロッパ風のショッピングモールの間に川が流れていて、とても綺麗でした。